

資料 2

障がい福祉サービス等／地域生活支援事業の見込量（活動指標）・実績値①

※太枠が5期の最終目標。なお、各年度において、実績値が最終年度目標を達成しているものについては、参考までに網掛けしている。

※評価については、中讃東圏域地域自立支援協議会でいただいた意見（R1年度・太字ゴシック）も盛り込んで記載している。

項目（単位）	目標値の考え方 （国の基本指針）	本市の見込方法	計画値／実績値	平成29 年度	第5期障がい福祉計画			5期計画 最終目標 （R2）	評価・今後の方針
					平成30 年度	令和元 年度	令和2 年度		
① 施設入所者の地域生活 への移行（人）	平成28年度時点の施設入 所者数の9%以上が地域生 活へ移行	H28年度末時点の施設入所者数73人の9% 以上がR2年度末までに地域生活へ移行（計 7人 H29年度1人、H30年度2人、R1年度2 人、R2年度2人）	計画値	1	2	2	2	H29～R2で7 （R2は2）	件数は入所者の高齢化による死 亡・入院等で入所数は減少して いるが、地域生活への移行は課 題が多く、数として上がってい ない。
			実績値	3	0	1			
			計画値				71		
実績値（A）	71	73	69						
（A）-H28（73人）	△2	0	△4						
② 福祉施設から一般就労 への移行（人）	平成28年度移行実績の 1.5倍	R2年度中の一般就労への移行者数をH28年 度実績の1.5倍以上とする。	計画値				4	4	今後とも就労制度の周知・活用促 進や関係機関との連携を通して、 雇用・就労の推進に努める。
			実績値	5	1	8			
③ 地域生活支援拠点等の 整備（力所）	各市町又は圏域に少なくと も1つ	H29年度中、圏域に1箇所整備済み。	計画値				1	1	地域生活支援拠点等の充実を図っ ていく。
			実績値	1	1	1	1		

障がい福祉サービス等／地域生活支援事業の見込量（活動指標）・実績値②

※各年度において、実績値が計画値を上回っているものについては、参考までに網掛けしている。

サービス名	単位	計画値／実績値	平成29年度	第5期障がい福祉計画			評価・今後の取り組み方向
				平成30年度	令和元年度	令和2年度	
(内訳)	訪問系サービス（居宅介護、重度訪問介護、同行援護、行動援護、重度障がい者等包括支援）	実利用者数（1か月当たり）※3月分実績	計画値 98	98	99	99	
		実績値	104	103	104		
	延利用時間（1か月当たり）※3月分実績	計画値	1,940	1,940	2,090	2,090	
		実績値	2,038.75	1,716.75	1,850.50		
	居宅介護	実利用者数（1か月当たり）※3月分実績	計画値 74	74	74	74	
		実績値	82	82	81		
	延利用時間（1か月当たり）※3月分実績	計画値	1,250	1,250	1,250	1,250	
		実績値	1,077.25	1,111.25	1,232.00		
	重度訪問介護	実利用者数（1か月当たり）※3月分実績	計画値 3	3	3	3	
		実績値	3	2	2		
	延利用時間（1か月当たり）※3月分実績	計画値	330	330	330	330	
		実績値	560.00	215.50	232.00		
	同行援護	実利用者数（1か月当たり）※3月分実績	計画値 18	18	18	18	
		実績値	17	17	19		
	延利用時間（1か月当たり）※3月分実績	計画値	270	270	270	270	
		実績値	323.50	323.00	326.00		
	行動援護	実利用者数（1か月当たり）※3月分実績	計画値 3	3	3	3	
		実績値	2	2	2		
延利用時間（1か月当たり）※3月分実績	計画値	90	90	90	90		
	実績値	78.00	67.00	60.50			
重度障害者等包括支援	実利用者数（1か月当たり）※3月分実績	計画値 0	0	1	1		
	実績値	0	0	0			
延利用時間（1か月当たり）※3月分実績	計画値	0	0	150	150		
	実績値	0	0	0			
障がい福祉サービス等	生活介護	実利用者数（1か月当たり）※3月分実績	計画値 130	131	132	133	
		実績値	135	134	134		
	自立訓練（機能訓練）	実利用者数（1か月当たり）※3月分実績	計画値 0	1	1	1	
		実績値	1	2	0		
	自立訓練（生活訓練）	実利用者数（1か月当たり）※3月分実績	計画値 4	4	5	5	
		実績値	2	1	1		
	就労移行支援	実利用者数（1か月当たり）※3月分実績	計画値 9	10	11	12	
		実績値	5	2	4		
	就労継続支援（A型）	実利用者数（1か月当たり）※3月分実績	計画値 25	27	29	31	
		実績値	23	21	15		
	就労継続支援（B型）	実利用者数（1か月当たり）※3月分実績	計画値 128	133	138	144	
		実績値	140	150	150		
	就労定着支援	実利用者数（1か月当たり）※3月分実績	計画値 —	2	4	6	
		実績値	—	1	1		
	療養介護	実利用者数（1か月当たり）※3月分実績	計画値 17	17	17	17	
		実績値	19	18	18		
	短期入所（ショートステイ）	実利用者数（1か月当たり）※3月分実績	計画値 40	42	44	46	
		実績値	42	44	31		
居住系サービス	共同生活援助（グループホーム）	実利用者数（1か月当たり）※3月分実績	計画値 79	80	83	89	
		実績値	84	87	87		
	施設入所支援	実利用者数（1か月当たり）※3月分実績	計画値 72	72	72	71	
実績値		71	73	69			
自立生活援助	実利用者数（1か月当たり）※3月分実績	計画値 —	1	2	3		
	実績値	—	0	0			
相談支援	計画相談支援	実利用者数（1か月当たり）※3月分実績	計画値 475	480	485	490	
		実績値	485	500	491		
	地域移行支援	実利用者数（1か月当たり）※3月分実績	計画値 0	1	1	1	
実績値		0	0	0			
地域定着支援	実利用者数（1か月当たり）※3月分実績	計画値 0	1	1	1		
	実績値	0	0	0			

（重度訪問介護）
1人当たりの利用時間が多く、利用者1名の死亡（平成30年度）により、平成30年度以降見込みを大きく下回っている。

（同行援護）
介護保険分野（ケアマネ）で障害福祉サービスの認知が高まり、ケアマネからのサービス利用の相談が増えており、高齢者の利用が多くなり、見込み量を超えて利用されている。

⇒ 機会を捉えてサービスの内容等の情報を周知するとともに、今後とも必要なサービスの提供に努めていく。

（自立訓練（生活訓練））
見込み量より大きく下回っている。実施できる市内の事業所がなくなり、場所が違いのと、利用者が求める支援とサービスがマッチしていない部分もある。（もう少し高いレベルの支援を希望している。）

（就労移行支援）
見込み量より大きく下回っている。特にH30からは高3のアセスメントが学校でできるようになり、サービスの利用がなくなったことと、移行支援を使わず、B型の中で支援しながら就労に結びついているケースも多い。

（就労継続支援A型）
事業所の経営が厳しく、目標とする生産性を達成できる障害者の雇用が難しい。事業所も市内では3か所しかないため、障害者が希望する作業内容とのマッチングも難しい。一般就労の障害者での雇用も増えており、生活困窮者自立相談支援事業なども活用している。

⇒ 就労移行支援や就労継続支援については、関係機関等と連携しながら雇用促進に努めるとともに、障害者優先調達推進法に基づいて定めた本市の調達方針にのっとり、特に市内事業所からの物品等の調達を推進し、工賃水準の引き上げや活動・訓練の場の確保を図っていく。

利用希望者を把握するとともに、身近な地域で利用してもらえるよう、事業所の情報も提供していく。

共同生活援助は計画値を上回っており、今後も需要が見込まれることから、必要な情報を提供することで、施設拡充の促進を図っていく。

（計画相談支援）
相談員の協力もあり見込み量を上回っている。セルフプランも数件しかない。

（地域移行支援）
（地域定着支援）
以前より相談員の負担が大きいとの指摘があり、サービスの実績がない。

⇒ 今後とも計画相談支援等の推進に努めていく。

サービス名	単位	計画値/実績値	平成29年度	第5期障がい福祉計画			評価・今後の取り組み方向
				平成30年度	令和元年度	令和2年度	
障がい児通所支援	児童発達支援 実利用者数 (1か月当たり) ※3月分実績	計画値	19	20	21	22	<p>(児童発達支援) 制度の普及や障害の理解が進み、利用者が 増えているが、年度で利用のばらつき がある。保育所・幼稚園等と併用で利用 されることも多く、利用量はそこまで伸 びていない。</p> <p>(放課後等デイサービス) 見込みを大きく上回っている。学校、保 護者間でのサービスの認知が高まってい ることと、学童利用者の増加で、障害児 への支援が十分できないということで、 利用が増えている。</p> <p>(障がい児相談支援) 相談員の協力もあり見込み量を上回って いる。セルフプランも数件しかない。</p> <p>⇒ 障がい児通所支援の内容について、必 要な情報提供に努めるとともに、家族の意 向に応じて必要なサービス提供につなげて いく。</p>
		実績値	21	14	20		
	放課後等デイサービス 実利用者数 (1か月当たり) ※3月分実績	計画値	50	52	54	56	
		実績値	53	67	69		
	障がい児相談支援 実利用者数 (1か月当たり) ※3月分実績	計画値	77	80	83	86	
		実績値	80	97	115		
保育所等訪問支援 実利用者数 (1か月当たり) ※3月分実績	計画値	0	1	1	1		
	実績値	0	0	0			
居宅訪問型児童発達支援 実利用者数 (1か月当たり) ※3月分実績	計画値	—	2	2	2		
	実績値	—	0	0			
医療的ケア時に対する関連分野支援コー ディネーター 実利用者数 (1か月当たり) ※3月分実績	計画値	—	0	1	1		
	実績値	0	0	1	1		
地域生活支援事業	相談支援事業 (障がい者相談支援事業)	計画値	11	11	11	11	<p>R1年度に1名配置</p> <p>相談支援事業については、地域自立支援協 議会等と連携しながら事業の推進を図って いく。</p> <p>利用者の高齢化で利用が減少しているが、 市役所での通訳者設置日に依頼があれば、 通訳者が外出の同行を行っており、支援が 足りていないわけではない。(他市では設 置日に外出を認めていないところもあ る。)</p> <p>また、31年度よりこども課の嘱託職員も通 訳ができるため、設置日以外、また設置日 でも通訳者が不在の時に対応してもらえ るよう協力を依頼している。</p> <p>相談支援事業所等、関係機関とも連携しな がら、制度の周知に努めていく。</p> <p>今後とも支援者の継続的な確保に向けた取 り組みが必要である。</p> <p>見込み量を下回っている。ヘルパーの確 保が難しい状況。今後もヘルパーが増え る見込みはないため、事業自体のあり方 に関し検討が必要。1対1支援になって いるが、利用者によっては1対2など複 数の利用者と1人のヘルパーで支援が可 能な場合もある。また、家から家の支援 が原則だが、家族支援が可能な場合はし ていただき、片道だけの利用を可能にし るなど、サービス量の軽減も考えてはど うか(高松は可)。</p> <p>また、利用要件等が緩和された際に、必 要以上のサービス利用をうながすことにな らないよう、地域自立支援協議会の居 宅部会にて、今後の事業のあり方ととも に、各市町の要綱等の変更も視野に入れ て検討してはどうか。</p> <p>利用希望者に対して、市内外問わず、一定 の日中活動の場の提供につながっている。 今後も機能強化事業を継続し、安定的な運 営と活動の場の確保に努めていく。</p>
		実績値	11	11	11		
		計画値	1	1	1	1	
	相談支援事業 (地域自立支援協議会)	計画値	1	1	1	1	
		実績値	1	1	1		
	成年後見制度利用支援事業 実利用者数 (年間)	計画値	2	3	3	3	
実績値		3	1	1			
支 援 思 疎 業 通	手話通訳者・要約筆記・奉仕員派遣事業 利用件数(件)	計画値	50	75	75	75	
		実績値	18	16	5		
日 常 生 活 用 具 購 入 費 給 付 事 業	介護・訓練支援用具 給付件数	計画値	2	2	2	2	
		実績値	4	4	2		
	自立生活支援用具 給付件数	計画値	6	6	6	6	
		実績値	4	8	7		
	在宅療養等支援用具 給付件数	計画値	5	5	5	5	
		実績値	7	5	2		
	情報・意思疎通支援用具 給付件数	計画値	14	14	14	14	
		実績値	23	28	19		
	排泄管理支援用具 給付件数	計画値	1,390	1,390	1,400	1,400	
		実績値	1,318	1,335	1,219		
	住宅改修費 給付件数	計画値	1	1	1	1	
		実績値	1	1	0		
手話奉仕員養成研修事業 実利用者数(件)	計画値	2	2	2	2		
	実績値	1	1	3			
移 動 支 援 事 業	延利用時間	計画値	6,200	6,340	6,480	6,620	
		実績値	5,272	4,902	5,052		
地 域 活 動 支 援 セ ン タ ー 機	I型 実施箇所数	計画値	4	4	4	4	
		実績値	4	4	4		
	II型 実施箇所数	計画値	2	2	2	2	
		実績値	2	2	2		
	III型 実施箇所数	計画値	2	2	2	2	
		実績値	2	1	1		